

自動
玉外し装置

反転装置

回転
誘導装置

バランサー

天秤

クランプ

P
C
調整治具

エ
コ
ミ
ライ
ザー

吊り金具

各種
確認シート

安全
重量表

パワーシャックル30ton 4点吊り

製品質量 745kg

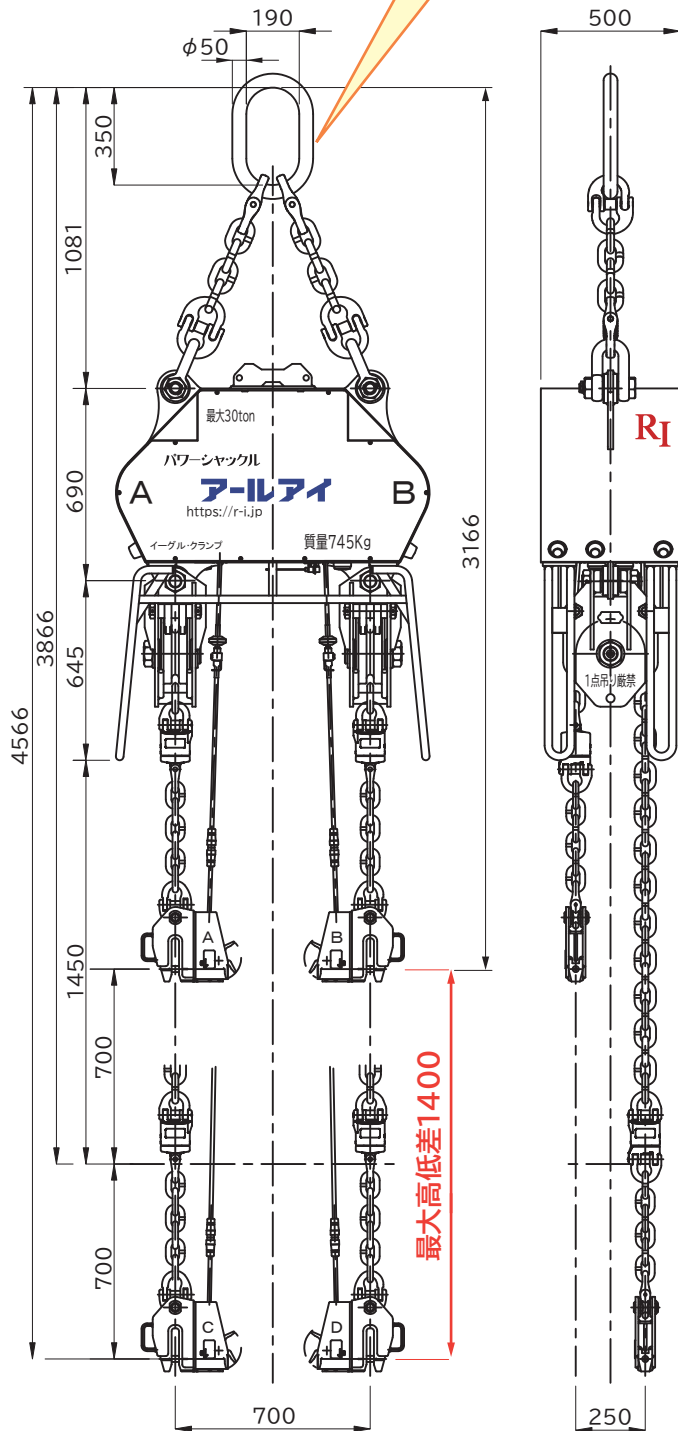
型番 PSCL30-4

HP製品紹介
QRコード

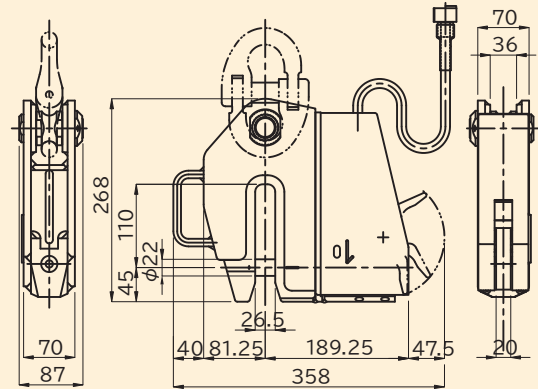


寸法図

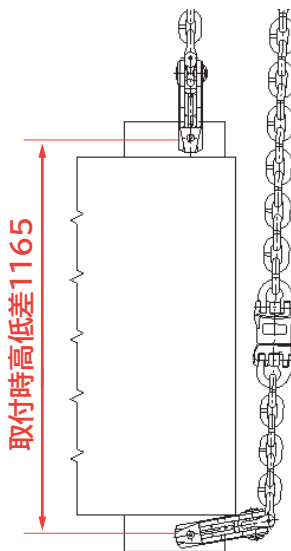
本体リングがクレーンに入るかご確認ください



■クランプ概算寸法図 質量19.5kg



吊りピース等の寸法は、穴径ピン径+2mm以上、板厚開口部-1mm以下でお考えください



- 横倒し厳禁、フォークリフトでの移動禁止
- カップリングを滑車（シーブ）に当てての1点吊りの使用は出来ません。



- チェーン吊り角度は30° 以内で使用してください。それ以上で使用するすると最大吊り荷重は低下します。

寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

無線式・自動玉外し装置

HP製品紹介
QRコード



パワーシャックル

リース

型番: PSCL

□ ラインナップ

製品名	型番
パワーシャックル 12ton 2点吊り	PSCL12-2
パワーシャックル 20ton 2点吊り	PSCL20-2
パワーシャックル 30ton 4点吊り	PSCL30-4
マイティシャックルエース 40ton 4点吊り	MSA40-4



■ 揚重別寸法一覧表

	最大使用荷重 (t)	製品質量 (kg)	クランプ部	
			ピン径(mm)	開口部(mm)
2点吊り	12	365	φ20	26.5
2点吊り	20	475	φ22	26.5
4点吊り	30	745	φ22	26.5
4点吊り	40	1160	φ25	30

この装置の表示基本使用荷重は、すべての吊り点に均一に荷重がかかった場合で、各クランプの表示基本使用荷重は表示荷重を吊り点で割った数値になります。

※クランプをセットする吊りピースなどの寸法は、穴径はピン径の+2mm以上、板厚は開口部の-1mm以下でお考えください。

警告表示の種類と内容

本カタログでは、人身事故や財産の損害を未然に防止するため、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。ご理解の上正しく安全にお使いください。

本文中に使われている図記号の意味

	「必ず行なっていただくこと」を示します。
	「してはいけない」を示します。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度の表示

	警告 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示します。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いを行うと使用者などが障害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示します。

(※1)障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさします。(※2)物的障害をは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

⚠ 注意事項

■ 玉掛け・吊り上げについて



●強い衝撃を与えない

機械本体は、電源、制御装置、パワーユニット（動力源）等、この装置の心臓部です。移動中や吊り上げ時に強い衝撃を与えないでください。

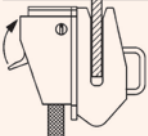




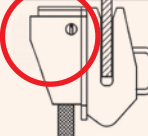
●主吊りピンの挿入とロックが正しくセットされているか確認をする

クランプが開放状態（主吊りピンが出ていない状態）であることを確認し、吊りピースまたはエレクションピースにクランプを出来るだけ奥まで差し込み、セットしてください。必ず主吊りピンが確実に吊りピースの穴に入ってる事を確認し、クレーンを巻き上げてください。

開放状態



ロック状態





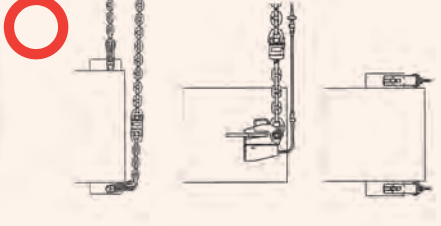
●吊りチェーンのねじれがないか確認をする

横向きに玉掛けする場合は、吊りチェーンが上側にくるように取り付けてください。吊りチェーンのねじれ、からみ等に十分注意してください。※MSAのみ水平吊りはトン数が異なります。

×



○



●操作ケーブルの取り扱いは慎重に行ってください 操作ケーブルの切断、破損は故障の原因になります。

■ 充電について ※MSAは充電方法が異なります



●本体は、一週間を目安に充電をしてください 使用頻度や気温などで異なります。



充電状態表示灯			充電時間の目安 (AC100V新品75%放電・ 電池温度30℃)
充電状態	赤ランプ	緑ランプ	
充電中	点灯	消灯	約3～5時間
充電末期	点灯	点灯	
充電完了	消灯	点灯	約5時間

●使用後、電圧計をチェックし、電圧が低下している場合、必ず充電を行ってください

電圧が22V以下の場合
充電が必要です。

●完全放電状態の場合、完全充電には約9時間が必要
●満了時の電圧は約25V

●電源を『切』にしてから充電してください

●無線指令機（リモコン）は、作業終了後毎回充電をしてください

⚠ 注意事項

■ 保管・保守について

●絶対に横倒ししない! 傾斜のある場所は避けてください

フォークリフトでの移動禁止、
移動中や吊り上げ時に強い衝撃を与えないでください。



●フォークリフト、車輛などでチェーンやケーブルを踏まないでください

ケーブルの断線や故障の原因になります。
クランプ部は収納フックに掛けて保管してください。



●機械本体の脚で、吊りチェーンや電源ケーブル、 操作ケーブルを踏んだり折り曲げないでください

本体を下ろす際は、各ケーブルが下敷きにならないようにクランプを
寄せながら置いてください。



●溶接等のアース接続や電極で絶対に接触しないでください



●平らな場所に保管してください

泥、砂、水たまりなど不安定な場所は避けてください。
クランプ部に異物が混入すると、故障の原因になります。



●作業終了後、クランプ部分は 収納フックに掛けてください

クランプ部に異物が混入すると、
故障の原因になります。



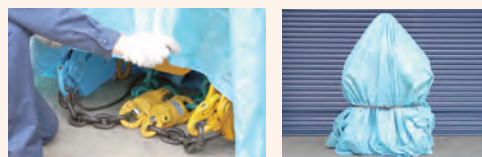
収納フックは左右にあります



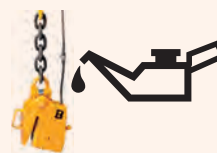
収納フック掛け方

●保管時機械本体、クランプ部分を 防水保護してください

ブルーシート等の防水カバーで覆ってください。



●クランプ部分と吊りチェーンに注油をしてください



●雨天時は必ず無線指令機 (リモコン) に付属の防水パックをして ご使用ください



●無線指令機 (リモコン) は、作業終了後毎回充電をしてください

故障?とお考えになる前に

 充電は してありますか? 週一回を目安に充電をお願いします。 扉を開け、電圧を確認してください。 (22V以下は要充電です)	»充電していてもこのような事例がありました ◎過充電、強充電によりバッテリーが弱まっていた ⇒ 強充電(※)は緊急時のみです。(※マイティシャッフルエースのみ) 繰り返し行くとバッテリー低下の原因となります。 ◎配電盤や延長コードに電気が来ていなかった ⇒ 必ず充電器のランプをご確認ください。 ◎充電器の故障 ⇒ 充電器は乱雑に使用すると故障の原因となります。 水没、コードの破損、落下による衝撃にご注意ください。
 こんなときは…	»クランプのピンが抜けない ◎充電不足による電圧低下 ⇒ 電圧を確認してください。 ◎リモコンの誤操作 ⇒ しっかりと2つのボタンを押し続けてください。 ◎リモコンの故障 ⇒ 水没や落下による故障は修理が必要です。 ◎ケーブルに破損 ⇒ 著しい変形や破損は修理が必要です。
	»ピンがセットできない ◎リモコンの誤操作 ⇒ しっかりと2つのボタンを押し続けてください。 ※ブザーが鳴り終わるまで押し続けてください。 ◎クランプの故障 ⇒ 変形や、激しい落下などによる故障が考えられます。
	»作動しない ◎充電不足による電圧低下 ⇒ 電圧を確認してください。 ◎電源が入っていない ⇒ 扉を開け、電源を確認してください。
	●P.55、P.56の禁止事項、注意事項を必ずご確認の上、 ご使用ご検討をお願いします ●ご使用時には取扱説明書を必ず熟読し操作方法を全て厳守して ください

自動
玉外し
装置

反転
装置

回
誘導
装置

バ
ラン
サー

天
秤

ク
ラ
ン
プ

P
C
調
整
治
具

エ
コ
ノ
ミ
ザ
ー

吊
り
金
具

各
種
確
認
シ
ー
ト

寸
法
表
・
安
全
荷
重
表